

# 竹林の風

～ すべては学校のため すべては子どもたちのため ～

栃木県教育委員会事務局  
河内教育事務所  
令和7年12月1日  
発行責任者 黒須親章  
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m51/kawachi-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp>

第83号

地域社会の停滞や教育力の低下が指摘されている状況の中、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という学習指導要領の目標を学校と地域とが共有し、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、相互の連携・協働のもとに学校づくりと地域づくりを進め、一体となって子供たちの成長を支えていくことが必要です。

## ① 地域とともにある学校づくり～熟議のすすめ～

文部科学省では、学校・家庭・地域が連携・協働して子供たちを育てるための体制づくりを進めています。そのための柱のひとつが「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」（以下「CS」という）による、地域とともにある学校づくりの推進です。CSは、地域住民や保護者が学校運営に参画し、教育方針や活動に地域の声を反映させる仕組みです。地域の特色を活かした学校づくりが可能となり、子供たちのよりよい成長につながります。

### ◆◇学校・家庭・地域の連携をより一層強めるために◆◇

学校・家庭・地域が連携するには、この三者が子供たちの現状や課題を共有し、「どのような子供を育てたいか」「何をを目指すのか」といった共通のビジョンや目標を持つことが大切です。



### ◆◇ビジョンや目標を共有するために◆◇

学校・家庭・地域でビジョンや目標を共有するための有効な手段が「熟議」です。熟議とは、「熟慮」と「議論」を通じて課題の解決を目指す話し合いのことです。学校と地域の関係者が顔を合わせて意見を交わすことで、互いの理解が深まり、具体的な取り組みへとつながります。

### ◆◇効果的な熟議の実施のために（河内教育事務所による支援）◆◇

河内教育事務所ふれあい学習課では、学校と地域の連携・協働に関する出前講座を行っています。「熟議」の進め方やテーマの設定の仕方など、相談やお困りの時は遠慮なく、御連絡ください。

他の人の意見を聞くことで、  
新たな気づきがありました！

子供たちのために〇〇をや  
ってみたいですね！



## ② 学校を核とした地域づくり～研修報告～

7月に実施した、管内の公立学校地域連携教員や宇都宮市地域コーディネーター、上三川町学校支援コーディネーター等が一堂に会した本研修では、「今こそ聞きたい！学校を核とした地域づくり・地域とともにある学校の本質」と題して、一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事の廣瀬隆人先生に御講話いただきました。

廣瀬先生からは、「学校を核とした地域づくり」は、学校という場を核として、地域の多様な人々が、学校の教育活動を支援したり、子供の健全育成をしたりしながら、つながりを強めることだと伺いました。

学校を核とした地域との連携・協働活動を通じて、子供たちに地域への愛着や誇りを育み、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、子供との関わりの中で大人の学びが活性化され、成熟した地域が創られていくことは、子供の豊かな成長にもつながり、人づくりと地域づくりの好循環を生み出すことにつながります。地域コミュニティの形成・活性化を図る「学校を核とした地域づくり」を推進していくという大きな広がりを持つ視点を持って、地域との協働や運営を捉えていくことが重要です。

講話の中での「良い学校は、良い地域にある」という言葉が印象的でした。



河内教育事務所 HP も御覧ください。「竹林の風」バックナンバーも掲載しています。▶

